

第 2 次平城宮

[http://digitalarchiveproject.jp/information/第 2 次平城宮/](http://digitalarchiveproject.jp/information/第2次平城宮/)



平城宮の第 2 次大極殿と内裏

神である天皇が起居する特別の宮殿が内裏。天皇と貴族および役人が儀式と政治を行なう場所が、大極殿である。掘立柱・檜皮葺き・白木造りの建物で構成される内裏が伝統的な生活様式に従っているのに対して、大極殿は礎石・瓦葺き・朱塗り柱という唐(から)風(ふう)の様式をとり、7 世紀になってから加わった新式の宮殿。

つまり平城宮は和(わ)唐(とう)折(せつ)衷(ちゅう)の宮城なのである。奈良時代前半の大極殿は、唐の長(ちょう)安(あん)大明宮をまねて平城宮の中心部に造られ、他の宮跡に例を見ない単独の宮殿区画を形成している。奈良時代後半、旧大極殿の東側に造られた第 2 次大極殿では、ひと昔古い藤原宮式の宮殿配置が復活し、内裏と密接に結びついている。第 2 次大極殿の発掘では、建物の規模が小さな掘立柱建物が下層の同じ位置で発見され、奈良時代前半には内裏の前面に掘立柱の宮殿区画が展開していることが明らかになった。

参考文献 町田章編『古代史復元 8 古代の宮殿と寺院』(株)講談社発行 1989 年



0001_平城京・出土遺物、柱、井戸枠



0002_平城京・出土遺物、柱、井戸枠



0003_平城京・出土遺物、柱、井戸枠



0004_平城京・出土遺物、柱、井戸枠



0005_平城京・出土遺物、柱、井戸枠



0006_平城京・出土遺物、柱、井戸枠



0007_平城京・出土遺物、柱、井戸枠



0008_平城京・出土遺物、柱、井戸枠



0009_平城京・出土遺物、柱、井戸枠



0010_平城京・第2次



0011_平城京・第2次



0012_平城京・第2次



0013_平城京・第2次



0014_平城京・第2次



0015_平城京・第2次



0016_平城京・第2次



0017_平城京・第2次



0018_平城京・第2次



0019_平城京・第2次



0020_平城京・第2次



0021_平城京・第2次



0022_平城京・第2次



0023_平城京・第2次



0024_平城京・第2次



0025_平城京・第2次



0026_平城京・第2次



0027_平城京・第2次



0028_平城京・第2次



0029_平城京・第2次



0030_平城京・第2次



0031_平城京・第2次



0032_平城京・第2次



0033_平城京・第2次



0034_平城京・第2次



0035_平城京・第2次



0036_平城京・第2次



0037_平城京・第2次



0038_平城京・第2次



0039_平城京・第2次



0040_平城京・第2次



0041_平城京・第2次



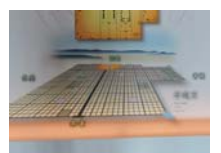
0042_平城京・第2次



0043_平城京・第2次



0044_第1次、2次の平面図



0045_第1次、2次の平面図



0046_第1次、2次の平面図



0047_第1次、2次の平面図



0048_第1次、2次の平面図



0049_第1次、2次の平面図



0050_第1次、2次の平面図



0151_第二次平城宮・内裏周辺



0152_第二次平城宮・内裏周辺



0153_第二次平城宮・内裏周辺



0154_第二次平城宮・内裏周辺



0155_第二次平城宮・内裏周辺



0156_第二次平城宮・内裏周辺



0157_第二次平城宮・内裏周辺



0158_第二次平城宮・内裏周辺



0159_第二次平城宮・内裏周辺



0160_第二次平城宮・内裏周辺



0161_航空写真、復元図



0162_航空写真、復元図



0163_航空写真、復元図



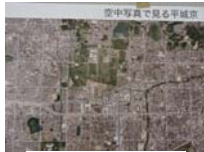
0164_航空写真、復元図



0165_航空写真、復元図



0166_航空写真、復元図



0167_航空写真、復元図



0168_航空写真、復元図



0169_航空写真、復元図